



JASDAQ

平成 26 年 6 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社ホロン
代表者名 代表取締役社長 新田 純
(JASDAQ・コード 7748)
問合せ先 取締役総務部長 菅野 明郎
電 話 04-2945-2951

(訂正)「平成26年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」
の一部訂正について

平成25年11月12日に公表いたしました「平成26年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の記載内容に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所は下線で表示しております。

記

1. 訂正理由

第29期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)有価証券報告書の作成段階において、キャッシュ・フロー計算書の投資活動によるキャッシュ・フローの表示に誤りが判明いたしましたので、一部訂正を行うものであります。

当該訂正にともない、平成24年3月期から平成26年3月期までの決算短信及び第2四半期決算短信につきましても訂正いたします。

今回の訂正による業績への影響はありません。

2. 訂正箇所

【添付資料2ページ】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(2) 財政状態に関する定性的情報 ②キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ、292百万円増加し(前第2四半期累計期間は149百万円の減少)、557百万円となりました。

～(省略)～

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は15百万円(前第2四半期累計期間に使用した資金は1百万円)となりました。これは、無形固定資産の取得による支出が15百万円あったことなどによります。

(訂正後)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ、212百万円増加し(前第2四半期累計期間は149百万円の減少)、457百万円となりました。

～(省略)～

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は95百万円(前第2四半期累計期間に使用した資金は1百万円)となりました。これは、定期預金の預入による支出が80百万円、無形固定資産の取得による支出が15百万円あったことなどによります。

【添付資料 6 ページ】

3. 四半期財務諸表

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△178	△135
無形固定資産の取得による支出	—	△15,495
敷金及び保証金の差入による支出	△1,434	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,612	△15,630
～(省略)～		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△149,884	292,483
現金及び現金同等物の期首残高	280,337	264,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	130,452	557,007

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△80,000
有形固定資産の取得による支出	△178	△135
無形固定資産の取得による支出	—	△15,495
敷金及び保証金の差入による支出	△1,434	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,612	△95,630
～(省略)～		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△149,884	212,483
現金及び現金同等物の期首残高	260,337	244,519
現金及び現金同等物の四半期末残高	110,452	457,002

以 上